地域創生を意識した社会科教育の実践事例

奈良工業高等専門学校　上島智史　竹原信也（一般教科）

奈良高専におけるＣＯＣ+（地方創生推進事業）の取組

- 文科省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」において『共創郷育：「やまと」再構築プロジェクト』奈良女子大、奈良高専（H27~H32）が採択
- 奈良高専では、研究・雇用創出の取組に加え、地域創生を担う人材教育として「地域創生マインド養成教育プログラム」を構築・実施
- 地域創生理解科目として社会の地理（1年、12月～2月、上島）・政治経済（3年、10～12月、竹原）において地域をテーマにした授業を展開

地理（地域主題学習）

○概要

奈良県の市町村についてグループ学習（6回実施）

➡地域を調査、統計資料の分析

地域の魅力を発見、グループごとにポスター発表

第１回	・ガイダンス　・グループ分け　・冬休み地域調査計画
冬休み　＊学生による地域調査	
第２回	・冬休み地域調査についてグループ内発表 ・発表テーマの選定　・ポスターの基礎知識説明
第３回	パソコンルームでの調べ物学習・プレゼン資料作り（１）
第４回	パソコンルームでの調べ物学習・プレゼン資料作り（２） **➡プレゼン資料完成**
第５回	ポスター発表と相互評価
第６回	ふりかえり・達成度確認

○グループ活動

① 調査対象地域を決定

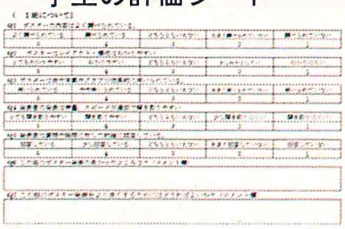
② ポスターを作成

○ポスター発表

発表を聞いて学生も評価

＊学生が作成した例

学生の評価シート



政治経済（企業連携による地域経済学習）

○概要

奈良中央信用金庫、県内企業による協力のもと、地域経済や問題解決の技法（SWOT分析）を学びな　がら、自分たちで事業計画書を作成し、金融機関と企業にプレゼンテーションを行った。

第1回	奈良中央信用金庫による特別講演
第2回	奈良県経済のSWOT分析
第3回	奈良県経済を活性化する事業アイデアの創出
第4回	事業計画書の作成（アイデアを形に）
第5回	奈良県企業による特別講演 事業計画書を企業・奈良中信にプレゼン
第6回	プレゼンの準備（LL教室）
第7回	グループ発表（奈良中信）
第8回	振り返り・アンケート調査

○授業過程

① 金融機関による特別講演

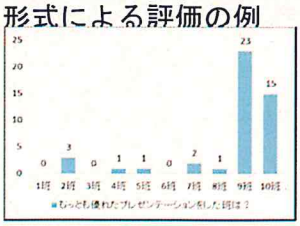
② 奈良県をSWOT分析

③事業計画のプレゼン

④事業アイデアの例

⑤学生による相互評価

スマホでリアルタイム形式による評価の例



⑥学生アンケートより

成果：地域を主題にした授業展開により、学生の地域に対する関心や地域創生への使命感を醸成

：地域の金融機関・企業と連携して実社会と繋がったPBL教育の展開

：プレゼンテーションやコミュニケーションなど汎用的なスキルを身に付けさせるグループワークを実施

課題：学生相互評価、グループワークやプレゼンテーションの授業についてはもう少し丁寧な授業設計が必要